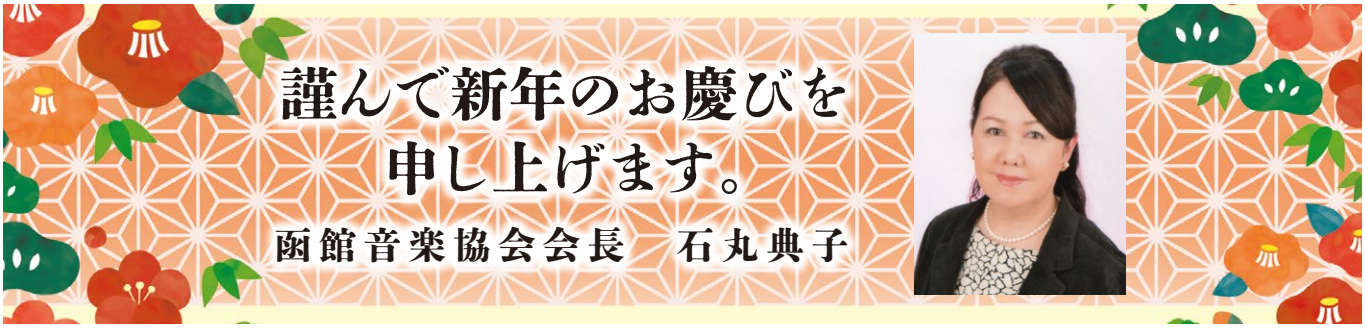
カリヨン

通巻 第96号
発行／2024.1

函館音楽協会会報
http://hako-on.com



皆様にはよき新年をお迎えのことと存じます。日頃より函館音楽協会の活動にご理解・ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。お陰様で、昨年の主催事業はすべて盛会に終了することができました。特に、コンサートに関わる全ての人々への感謝に溢れた感想文をいただいたジュニアコンサートや、50回という節目に相応しく、ハイレベルな演奏に目を見張った学生コンサート、ソワレにもかかわらず沢山のお客様をお迎えした秋季定期演奏会では客席からブラボーの声も飛びました。そして、函館音楽協会賞の受賞記念演奏も披露された春季定期演奏会では、来場されたお客様から、後日、嬉しいお葉書をいただきました。

『五月二十八日　雨の中、あの様な演奏会が流れているとは。演奏者、舞台係など、心の通いが感じられるいい演奏会でした。音の内面化した曲づくり 光あり、影あり、風あり といった個の表出が音楽空間をつくり出している感じがしました。しばらくぶりに聴く 佳い音楽会でした。雨も美しく見えた日でした。ありがとうございます。』
（原文まま）

このお葉書一枚で、私たちはどんなに励まされ嬉しかったことか…どんな言葉をもってしても表現できない程の感激でした。

2024年、コロナ禍から4年目となりますが、音楽界においては以前と変わらないような活動が復活し、明るい気持ちでおります。イギリスの宰相チャーチルは「この危機を無駄にするな」「危機こそ成功するチャンスである」という言葉を残しています。この危機を恐れ萎縮し、できなくなった事を数えて嘆くだけではなく、あの時があったから今がある、と思えるような時間を過ごすべきだ、と。その時こそ正に「今」ではないでしょうか。悶々とした日々を乗り越え、やっとその時が来た、という思いがします。

今年も函館音楽協会賞・奨励賞の受賞記念演奏も楽しみな春季定期演奏会を皮切りに、二つの育成事業、秋季定期演奏会、と開催して参ります。市民の皆様も背中を押してくださっています、頑張りましょう！本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

函館音楽協会2024年度事業予定

函館音楽協会2024年度事業日程は、以下の通りに決定しましたのでお知らせします。

総　　会	4月21日(日)函館市民会館大会議室	ジュニアコンサート	9月23日(月祝)函館市芸術ホール
春季定期演奏会	5月26日(日)函館市芸術ホール	秋季定期演奏会	11月 9日(土)　函館市芸術ホール
学生コンサート	8月25日(日)函館市芸術ホール		

令和5年度函館音楽協会賞および奨励賞受賞者決定について

函館音楽協会（会員113名）は、令和5年12月6日午後7時より、函館市民会館小会議室2号に於いて選考委員会を開催し、令和5年度函館音楽協会賞および奨励賞受賞者を決定しましたので発表いたします。

令和5年度の各賞受賞者は次のとおりです。

函館音楽協会賞（第34回）　阿部　哲治（あべ　てつじ）72歳：音楽教育
函館音楽協会奨励賞（第60回）　Ｄｕｏ Ｎｏｉｒ　（デュオ・ノワール　高　実希子 39歳、蓑田　なつき 38歳）：ピアノ
水上　知歩（みずかみ　ちほ）38歳：フルート

両賞は、函館市及び隣接市町に在住する個人並びに団体を対象に、毎年前年12月1日から11月30日までの1年間の活動を対象として選考されます。協会賞は過去からの実績の蓄積、および当該年度中における郷土の音楽文化向上推進への特段の功績が認められる事業、あるいは活動した個人や団体に授賞します。奨励賞は当該年度中に作曲並び演奏活動において、意欲的且つ、特筆すべき高水準の実績を示し、郷土の音楽活動の推進力となった個人又は団体に対して授賞します。

表彰式は令和6年1月21日（日）午前10時より函館市民会館小ホールにて行われ、受賞者には賞状と記念品が授与されます。また、受賞者は5月26日（日）開催の春季定期演奏会（函館音楽協会主催　於：函館市芸術ホール）において受賞記念演奏を行う予定です。

令和5年度函館音楽協会選考委員会委員

委員長	会　長	石丸　典子	委　員	副会長	島　　聖子
委　員	評議員	市川　須磨子	委　員	副会長	伊藤　亜希子
委　員	評議員	佐々木　茂	令和5年度委嘱委員		後町　久子（会員）
委　員	評議員	宍戸　雄一	令和5年度委嘱委員		山本　和生（会員）

以上8名

授賞事由

函館音楽協会賞

阿部　哲治（あべ　てつじ）：音楽教育

氏は、1974年北海道教育大学札幌分校特設音楽課程を卒業後、中学校の吹奏楽部顧問として北海道吹奏楽コンクールに数多く出場し好成績を残している。

また、北海道吹奏楽連盟理事をはじめ函館地区吹奏楽連盟理事長として道南の吹奏楽の発展に貢献してきた。更に、氏は函館市民オーケストラ、函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ、函館オペラの指揮者として活躍してきたが、特筆すべきは、2023年11月、函館市民文化祭で上演されたオペラ「不思議の国のアリス」の指揮者としての重責を果たし、大成功に導いた。

これらの活動は、郷土の音楽文化向上推進への大きな功績として、高く評価される。

函館音楽協会奨励賞

Ｄｕｏ Ｎｏｉｒ（デュオ・ノワール　高　実希子、蓑田　なつき）：ピアノ

Ｄｕｏ Ｎｏｉｒは2023年結成10周年を迎えた。同年10月に（公財）函館市文化・スポーツ振興財団が主催する「丘の上の芸術祭」にて連弾を披露し、また、秋季定期演奏会では、ラフマニノフの超絶技巧を凝らした曲を見事に弾きこなし、2台ピアノの魅力を存分に発揮し聴衆に感動を与えた。お二人のこれらの活動は、郷土の音楽文化向上の推進力となり、今後益々の活躍が期待される。

函館音楽協会奨励賞

水上　知歩（みずかみ　ちほ）：フルート

氏は、2023年5月に開催された春季定期演奏会にて近現代音楽を美しい音色で説得力のある演奏を、また、秋季定期演奏会においては、ポピュラー音楽を披露し、幅広いレパートリーを積極的に演奏している。また、ざいだんアフタヌーン・ステージや、主催する「Cittá　natale」の自主公演をはじめ、2023年は年間8公演の活躍となった。氏のフルート音楽の普及に尽力する姿勢は郷土の音楽文化の推進力となり、今後益々の活躍が期待される。

受賞者プロフィール

函館音楽協会賞

阿部　哲治（あべ　てつじ）：音楽教育

函館市出身。北海道教育大学札幌分校特設音楽課程卒業。学生時代より母校である函館中部高等学校吹奏楽部を指導し北海道吹奏楽コンクールで金賞（2位）、全日本吹奏楽コンクールには2度出場した。

ＯＢ会団長として第50回定期演奏会に中学校の教え子である長谷川智之氏（現ＮＨＫ交響楽団首席トランペット奏者）を招いて記念演奏を披露した。中学校で勤務した3校すべてで北海道吹奏楽コンクールに出場し金賞を受賞している。

函館地区吹奏楽連盟事務局長、理事長を歴任し理事長時代には函館地区吹奏楽連盟50周年記念行事を成功させた。また中島眞之氏と函館市民オーケストラ設立に尽力し常任指揮者も務めた。

函館ジュニア・ドリーム・オーケストラでは設立時から指揮をし、団長も務めた。平成27年から函館オペラの会公演のオペラを指揮。5回目の今回、初めて邦人作品「不思議の国のアリス」（木下牧子作曲）に取り組み、現代曲で難曲だったが、舞台とオーケストラが一体となってアリスの世界を表現し好評を得た。函館地区吹奏楽連盟顧問。

函館音楽協会奨励賞

Ｄｕｏ Ｎｏｉｒ（デュオ・ノワール　高　実希子、蓑田　なつき）：ピアノ

ピアニスト高実希子・蓑田なつきによるピアノデュオ。

2013年結成。2014年初の単独コンサート開催。

（公財）函館市文化・スポーツ振興財団主催によるスプリングコンサート2016「Duo Noirバレンタインコンサート」・「♭ふらっとコンサートスペシャル」（2020年）・「キッズフェスティバル」（2022年）・「丘の上の芸術祭」（2023年）出演。

また、ピアノデュオ川口兄弟とのコンサートを、函館市芸術ホール（2015年）、東京・西巣鴨音楽堂で開催（2016年）。

これまでに、幼稚園・介護施設への訪問演奏や、アウトリーチ事業にも参加している。

2023年に結成10周年を迎え、2台ピアノと連弾の魅力を伝えるべく、繊細かつ女性の枠を超えたパワフルな演奏で活動中。

高　実希子（こう みきこ）

函館市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学首席、パリ国立高等音楽院卒業。ショパン国際ピアノコンクール in ASIA大学生部門最高位他、国内外での受賞歴多数。ソリスト、室内楽奏者として海外から招聘他、国内外の著名演奏家と共演を重ねる。函館音楽協会、クレアシオン各会員。平成21年度函館音楽協会奨励賞受賞。令和2年度函館市文化団体協議会青麒章受章。

蓑田　なつき（みのだ なつき）

熊本県出身。京都市立芸術大学卒業後、ドイツへ留学し、カールスルーエ音楽大学を経て、ハノーファー音楽・演劇大学大学院を修了、ドイツ国内にて東日本大震災チャリティーコンサートを行う。現在、合唱伴奏・室内楽と幅広く活動している。2012年より函館在住。函館音楽協会、クレアシオン各会員。令和元年度函館音楽協会奨励賞受賞。

函館音楽協会奨励賞

水上　知歩（みずかみ　ちほ）：フルート

北斗市出身。遺愛女子高等学校、北海道教育大学函館校　芸術文化課程音楽コース管楽器部門を首席で卒業。卒業演奏会において楽友会賞を受賞。SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2020フルート部門Category D最高位入賞。フルートを阿部博光、中山耕一の各氏に師事。教会での婚礼演奏、吹奏楽部の指導の傍ら、2019年よりピアノとフルートによるアンサンブルユニット「Cittá natale」を結成し演奏活動を行う。

函館音楽協会主催の各種コンサート、（公財）函館市文化・スポーツ振興財団主催の各種コンサート、渡島総合振興局道民ホールコンサート、世界自閉症啓発デー、地域包括支援センターでの演奏に積極的に出演。

日本フルート協会会員、クレアシオン会員、函館音楽協会幹事。

令和5年度市民舞台芸術奨励事業 第50回函館音楽協会学生コンサート

第50回学生コンサートが8月27日（日）函館市芸術ホールで開催されました。

今回は国内外で音楽を学ぶ、函館にゆかりの深い大学生11名が出演しました。

ダブルエントリーもありステージ数は13組、加えてゲストに木古内町出身のフルート奏者 嶺井千奈氏を迎え、50回の節目に相応しい華やかなプログラムでお送りしました。

ソプラノ、テノール、ピアノ、フルート、クラリネット、ホルン、ユーフォニアムと音色豊かに日ごろの学びの成果を披露し、若さあふれる熱演に、会場を訪れた340名のお客様からは一組一組にあたたかい拍手が送られていました。

クラリネットの平田紗希さんより、出演のご感想を頂きました。

令和5年度市民舞台芸術奨励事業
第50回函館音楽協会学生コンサート
日時／2023年8月27日（日）
開場14:30　開演15:00
会場／函館市芸術ホール
料金／一般　1,000円
学生　500円（中学生以下無料）

◇東京学芸大学教職大学院２年　平田　紗希

この度は、第50回という記念すべき演奏会に出演する機会をいただき、誠にありがとうございました。貴重な場を設けてくださった関係者の皆様に心からお礼申し上げます。大好きな地元で、地域の皆様の前で演奏でき、とても幸せな時間を過ごすことができました。

今回は出演者も多く、控室ではお互いの近況報告や大学での学びなどについて話を弾ませていました。

本番では、同年代の皆さんの素敵な演奏から様々な気付きを得ながら、自身の音楽と改めて向き合うことができたと感じています。懐かしい出会いもあり、成長した姿を見せ合うことができるという地元ならではの良さや充実感を味わった1日でした。演奏会終了後にご来場くださった方から温かな拍手をいただけたこと、「成長したね、良い音楽だった。」とお声がけをいただいたことは、これから先もずっと忘れないと思います。

また、記念演奏会ということで第一線でご活躍されている嶺井さんの演奏をお聴きすることができ大変勉強になりました。音を自由に操りながら多彩な表現をされていて、音楽を伝えることの素晴らしさと難しさを再認識しました。

それぞれ進む道は異なると思いますが、またいつか皆様とお会いできることを願っております。音楽を伝えられる喜びを忘れずに、これからも精進いたします。

ゲスト：嶺井　千奈氏

令和5年度函館音楽協会 第64回ジュニアコンサート

函館音楽協会主催第64回ジュニアコンサートが9月23日(土・祝)函館市芸術ホールで開催されました。

ジュニアコンサートは函館とその近郊で音楽を学ぶ子供たちのコンサートで、今年度は小学1年生から高校3年生までの23名が日ごろの練習の成果を披露しました。

ピアノ・ヴァイオリン・ギター・フルート・クラリネット・オーボエ・アルトサクソフォーン・声楽と個性あふれる豊かな音色に会場からは温かい拍手が送られていました。

オーボエ独奏で出演した大友心さんより感想をいただきました。

令和5年度函館音楽協会
第64回ジュニアコンサート
日時／2023年9月23日(土・祝)
開場13:00　開演13:30
会場／函館市芸術ホール　料金／無料

◇遺愛女子高等学校3年　大友　心

今回で2回目で、最後の出演となり、おかげさまでとても良い経験で締めくくることができて嬉しく思います。

ジュニアコンサートを通して多くのソロステージを経験することで、ピアノとオーボエとで一緒に演奏することの楽しさに気づき、自分の音に向き合う機会を何度もいただきました。自分と違う年代の小さな子たちの演奏を聴くことで、様々な刺激を得て自分の音楽に生かすこともできました。

本番のステージはとても緊張していましたが、この素晴らしいホールで自分の好きな曲をのびのび演奏し、たくさんの方々に聞いていただけるということを考えると、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。このコンサートを経験すると、演奏前の不安も自分の中で自信に変わり、成長することにもつながるので、とても貴重な機会だったと改めて感じました。

このような貴重な経験をさせてくださった関係者の皆様や一緒に演奏してくださった山本先生、支えてくれた保護者や共演者の皆様には本当に感謝しています。とても貴重な経験をありがとうございました。

令和5年度函館音楽協会 秋季定期演奏会

11月25日(土)18:00より、函館市芸術ホールに於いて令和5年度函館音楽協会秋季定期演奏会が開催されました。

定期演奏会は当会会員の研鑽の場として春と秋に年二回開催しており、秋季定期演奏会は毎回テーマを設けたプログラム構成になっています。

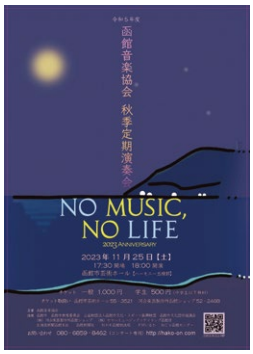
今回のテーマは「NO MUSIC, NO LIFE〜2023アニバーサリー〜」。

生誕100年の中田喜直など作曲家のアニバーサリーに加え、ウォルトディズニーカンパニー創立100周年など、音楽に関わる視野を広げて多彩な楽曲が演奏されました。

ソプラノ、フルート、リコーダー、チェンバロ、ヴァイオリン、チェロ、ピアノ連弾、2台ピアノと音色豊かに9組が出演し、コンサートの最後、ラフマニノフ(生誕150年)作曲の2台のピアノのための組曲第2番では、従来に囚われず2枠エントリーをすることで全曲演奏(20分超)されました。

積雪と凍結により路面状況の思わしくない中にも関わらず、300名のお客様にお越しいただき、たくさんの拍手をお送り下さりました。

出演した宍戸良子氏よりコメントをお寄せいただきました。



令和5年度函館音楽協会 秋季定期演奏会
日時／2023年11月25日(土)
開場17:30　開演18:00
会場／函館市芸術ホール
料金／一般　1,000円
学生　500円(中学生以下無料)

◇フィオリムジカーリ　宍戸　良子

春に続き、秋季定期演奏会にフィオリムジカーリとして出演させていただきました。私達のグループは結成から18年ほどになるリコーダーアンサンブルです。現在はトリオで、函館市のイベントや、ミニコンサートなどで演奏しています。春季、秋季とチェロを加え、バロック時代に盛んに演奏されていたトリオソナタを演奏しました。A.コレッリ、G.Ph.テレマン、ヴィヴァルデイなど著名な作曲家が数多くの名曲を残しているトリオソナタは、2つの旋律楽器、通奏低音(チェロ、チェンバロなど)の編成で演奏されます。

さらに、当時はおよそ半音低いバロックピッチや、一音低いフランスピッチなどで演奏されていたようですが、今回はその時代の響きを表現しようと、バロックピッチの楽器を用いました。半音近く低いだけで、より深く、ぬくもりのある音色になると感じます。それが芸術ホールにどのように響き渡るかが、私達の課題であり、楽しみでもありました。当日は皆ワクワクしながら熱く(?)演奏できたのではないかと思います。この楽器に出会えたこと、仲間に出会えたことに感謝し、これからもリコーダーという古楽器の魅力を発信できるように研鑽を積んでいこうと思います。

コンサート情報

—主催事業—

春季定期演奏会
■日時／2024年5月26日(日)　時刻未定
■会場／函館市芸術ホール

学生コンサート
■日時／2024年8月25日(日)　時刻未定
■会場／函館市芸術ホール

ジュニアコンサート
■日時／2024年9月23日(月祝)　時刻未定
■会場／函館市芸術ホール

秋季定期演奏会
■日時／2024年11月9日(土)　時刻未定
■会場／函館市芸術ホール

—後援事業—

令和５年度市民舞台芸術奨励事業
女声コーラストリル　創立３５周年記念演奏会
■日時／2024年2月25日(日)　14時開演
■会場／函館市芸術ホール
■料金／一般1,000円　学生500円
■出演／女声コーラストリル、市川　映子、渡邉　拓也、
有岡　琴美、藤田　淳子、後町　久子
■主催／女声コーラストリル
■問合せ／0138-83-7754(大坂)

東京藝術大学 道南ゆかりの同窓生によるコンサート
■日時／2024年3月16日(土)　13時30分開演
■会場／函館市芸術ホール
■料金／一般2,000円　学生1,000円
■出演／笠原　丞、成迫　萌桜、畑中　ゆき、山本　和生、
佐藤　朋子、伊藤　野笛、伊藤　亜希子、
徳永　ふさ子、大村　義美
■主催／藝大コンサート実行委員会
■問合せ／090-3774-1447